

We

2007年春季号(通巻69号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニューズレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp

部会・サークルは今! ニューズレター部会の巻

今号からこの表紙は部会とサークルの紹介をしていきます。部会は実行委員会を構成している協会のエンジンです。また、サークルは事業の推進に重要な動輪の役目をしています。興味を覚えた部会やサークルがありましたら、会員の積極的な参加をお願いします。

【最近の事業】

専ら機関誌Weの編集、発行が主な仕事です。対外的な仕事ではないので皆さんの前に出ることはほとんどありません。したがって、紹介の写真も編集会議の様子です。写真ではあまり伝わってこないのですが、こと編集会議では全員ちょっと異常なくらいのこだわりを發揮し、熱気ムンムンです。特に、誤植と記事の内容の間違いは

メンツにかかわるので、いつも細心の注意を払っています。それでも時々指摘を受けて、配慮の足りなさを後悔しています。これからも完璧を目指して頑張ります。それにしても日本語は難しいとやればやるほど思います。

紙面作りには、いろいろ知恵を絞っているのですが、至らぬ所も多いと思います。意見やアドバイスがありましたら、ご遠慮なく事務局まで伝えてください。発言、投稿も歓迎します。

メンバーにとっては、原稿の依頼をすんなり受けももらった時と、紙面が自分の考えたように仕上がった時が大きな喜びです。資料の収集や整理も重要な仕事になっていますが、時間的に十分に果たせていないことが少し気になるところです。

これからの課題としてはホームページサークルとの連携を密にしなければ、と考えています。また、会員の増員も望むところですので、編集に興味のある人は一度見学に来られませんか。(文責、今泉)



【現在のメンバー数】5人。

実働4人

【今期の役員】部会長・今泉徳好、副部会長・白井紀味代、会計・小柳津えみ

【部会の目的・モットー】機関誌の発行。各種資料の整理、整頓、記録

【設立】協会発足と同時(協会の規約にうたわれている)

青招事業は

4年振りのJICAからの受託事業である青年招へい事業は、2月6日から13日までで無事終わりました。来豊したのは「コーカサス混成」チームでアルメニア、アゼルバイジャン、グルジアの3国から各5人ずつ合計15人でした。分野は協会としては初めての「教育行政」。言葉に関する心配が大いにありましたが、会ってみると“人類みな友達”そのもので何の問題もありませんでした。青年たちからは、先に行われた東京での研修よりも、地方の豊川のほうがより魅力的だった、との声も聞かれました。

日程を写真で追うとともに、来豊者と同年代の青年でホストファミリーを引き受けてくれた笠原元樹さんの手記を掲載します。

10日(土) 名古屋を訪
問して徳川美術館、
名古屋城を見学。



11日(日) ホストファミリー
と楽しい1日...

12日(月) 荷物のまとめ。自
主研修。

13日(火) 新幹線で東京へ。

9日の陶芸作品は後日見
事に仕上がって、早速現
地へ向けて発送しました。



6日(火)

6日(火) 午後來訪。夕方6
時から市民プラザで歓迎
会を開催。



7日(水)

7日午後には豊
川工業高校を
訪問しました。



7日(水)

7日(水) 午前中は金屋中学校を訪問。校長先生の説明の後、授業にも参加しました。



あなたの身近に 「ベスト」なひまわり

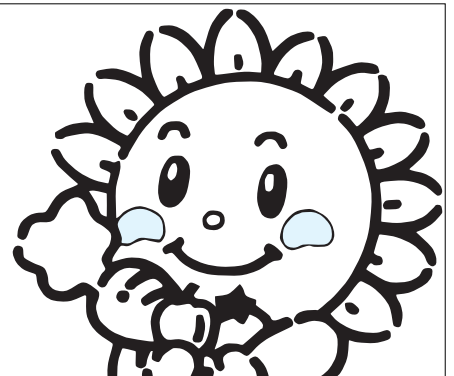
ひと・夢・いいね。

 **JAひまわり**

豊川市諏訪1丁目1番地 TEL 85-3171
代表理事組合長 柴田 勝

グリーンセンター豊川 TEL 85-8318
グリーンセンター一宮 TEL 93-6111
グリーンセンター音羽 TEL 88-6600

産直ひろば中部 (Aコープ中部店内) TEL 89-1201
産直ひろば一宮 (Aコープ一宮店内) TEL 93-2975
産直ひろば小坂井 (Aコープ小坂井店内) TEL 78-3381



無事終わる

9日(金)



午後は桜ヶ丘ミュージアムで日本文化体験（茶道、陶芸）。



9日(金) 午前中は新城高校訪問して授業参加。



9日(金)



8日(木)

感激。午後は県立養護学校を訪問しました。

8日(木)

午前中は国府小学校訪問。全校生徒の歌による歓迎会に青年たちは

アルメニア?から
アルメニア!へ

牛久保町 笠原 元樹



アルメニア。今まで聞いたことすらなかったその言葉。初めてのホスト経験は地図上から、その「アルメニア」を探すことから始まった。国の場所さえ知らないんだから文化や信仰はもちろん、何を食べて、どんな言葉を使うのかも想像がつかない…。その「アルメニア」から笠原家にやってきたのは、大学教員のアルカディ。僕と同じ26歳とは思えない風貌の持ち主だ。そんな彼と過ごした3日間…。

これはそのほんの一部。

“「東京は25世紀のように感じる」”

最初の日本の感想。ガラガラ都市東京。現に僕もそう感じる…。でも、豊川はなんだかアルメニアに似てて落ち着くらしい。アルメニアは豊川に似てるのか？

“「タクシーと電車の料金が高い！」”

やはり出た。日本の交通機関への感想。カチカチ上がるあのメーター。現に僕も高いと思う…。「アルメニアでは5分の1くらいだよ」と彼。人の動き、世の活性化に直接関係する交通機関の料金。なんだか考えさせられる？

“「食事をした」”

「日本食はあまりおいしくない」。彼の日本食へのイメージ。払拭させねば。昼食にとんかつ屋に行った。白米は注文せずに食パンを持参。…カツサンドになってる。我ながら見事な失敗。夕食は自宅で母の手料理。食べ始めてすぐ「今晚が僕にとって、初めての日本食になった」と感激してる。やはり家庭料理が一番ってことか？とんかつ屋の選択が今でも悔やまれる。

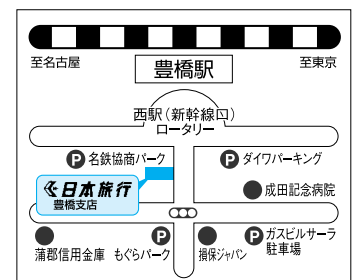
そんなこんなで3日間、チープな英語でやり取りしながらも、一緒に過ごすことで文化や考え方の違いを肌で感じる事ができた。場所さえ知らなかったアルメニアがずっと近い国になった。それにしてもほんとに豊川に似ているか？現地に兄弟ができたから、今度確かめに行ってみようと思う。

日本旅行 豊橋支店

国土交通大臣登録旅行業 第2号 / JATA(社)日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員 / 旅行業公正取引協議会会員

〒441-8013 豊橋市花田町一番地180
TEL 0532-33-7910
FAX 0532-33-7929

受付時間 / 平日 10:00~18:00
定休日 / 土曜・日曜・祝日



◎駐車場案内 / まちなかパーキング(共通駐車場券)
ご旅行お申込み・お買上げのお客様に限らせていただきます。
市JR券、航空券、バス等の交通券のみのお買上げは除かせて頂きます。

平成19年度の主な

今年度の行事が決まりました。会員の皆さんが気軽に参加できる催しをお知らせします。多くの仲間たちといっしょに素敵な体験をしましょう。行事の内容や募集の方法につきましては順次掲載していきますが、変更する場合がありますので、詳細は事務局へお問い合わせください。

なお、使用の写真は昨年度のものです。

交流会

オイスカ青年研修生との交流会

とき 5月24日(木)午後6時

ところ 勤労福祉会館視聴覚室

内容 財団法人オイスカ中部日本研修センターで農業を研修中のアジア・太平洋地域の青年たちと茶話会形式で楽しいひとときを過ごします。



オイスカ青年研修生との交流会

ワールドフェスティバル

とき 12月9日(日)

ところ 勤労福祉会館大研修ホール

内容 日本、ブラジル、ペルー、中国など世界各国の歌と踊りを主体とした交流会です。



ワールドフェスティバル

文化講座

世界紹介講座「どんな国シリーズ」

とき 9月15日(土)と2月16日(土)の2回

ところ 勤労福祉会館視聴覚室

内容 名古屋国際センター登録の外国人講師を招き、世界各国の歴史や文化を学びます。



台湾ってどんな国



ベトナム料理教室

世界の料理教室

とき 6月24日(日)と2月24日(日)の2回

ところ 勤労福祉会館調理実習室

内容 世界の食文化を理解するため、さまざまな国の料理の作り方を学びます。

国際理解促進事業(愛知万博継承事業)

万博フレンドシップ事業を契機として、内外で加速する国際化に対応するため、市民を対象として海外体験事業と国際理解講座(年間3講座)を行います。

フィリピン市民ツアー

とき 10月中・下旬、5日間

募集人員 20人

国際理解講座

とき 第1回目 6月20日~7月18日の毎週水曜日

ところ 勤労福祉会館

青少年交流

キッズワールド サマースクール

とき 9月1日(土)

ところ 学童農園山びこの丘(新城市)

募集人員 40人

内容 小学4年から6年までの子どもを対象に、野外活動を通して外国人講師との日帰り交流を行います。



キッズワールド

行政書士小柳津えみ事務所

DESPACHANTE CREDENCIADA

入管手続・帰化申請・内容証明
遺言書・相続手続・各種許認可申請

豊川市御油町栗木山152番地
TEL 0533-80-1801
FAX 0533-80-1802
E-mail emi@fb3.sonet.ne.jp



プラスワンの真髄

共和印刷株式会社

豊川営業所/〒442-0835 豊川市新桜町通2丁目45 TEL_0533-89-8625
本社/〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1 TEL_0532-46-3281
蒲郡営業所/〒443-0046 蒲郡市竹谷町西ノ浜20番地 TEL_0533-67-0509

行事を紹介します

中学生体験学習inマレーシア2007

と き 8月16日(木)から23日(木)まで

内 容 中学生15人を公
募し、マレーシ
アの学校を訪問、同
世代の子どもとの
交流やホームステ
イを通じ国際感覚
を養います。



中学生体験学習

マレーシアジュニアフレンドシッププログラム

と き 11月22日(木)から26日(月)まで

内 容 マレーシアの中学生グループが来豊し、市内
小・中学校の訪問やホームステイを通じ日本
人家族との交流を図ります。

語学講座

レベル別の英会話7講座はじめ日常韓国語・中国語・
ポルトガル語・スペイン語の各会話を1講座12回で行い
ます。

部会・サークルの主な活動・交流会

ホームビジット

ホームステイ部会の中のホームビジットの会では、豊
橋技術科学大学と愛知大学の留学生に呼び掛けて、7月
下旬から9月上旬にかけて行います。

開発途上国の人々への生活必需品支援

世界の恵まれない人々に、衣料、文房具などを送ります。
ヴェロニカ会では、送料ねん出のため毎月第3日曜
日に、ひまわり農協グリーンセンター音羽でバザーを開
催します。

日本語教室

豊川市周辺に住んでいる日本語が話せない外国人を対
象に、日本語や生活習慣を教えます。毎週土曜日午後7
時45分から日本語教室部会の会員がボランティアで指
導します。

お月見交流会

と き 9月下旬

ところ 未定

内 容 フレンドシップ部会が中心となり、複数の部
会とサークルが協力して、会員と外国人を対
象に中秋の名月をめぐる茶話会を行います。



お月見交流会

節分交流会

と き 2月上旬

ところ 勤労福祉会館

内 容 フレンドシップ部
会が中心となり、
会員と外国人(子
ども同伴可)を対
象にゲームを楽しみ、日本の伝統的な豆まき
を行います。



節分交流会

会員を募集しています

協会では、年間を通して会員を募集しています。
「外国の文化に触れてみたい、自分の世界を広げたい」と思っている方、気軽に国際交流を楽しんでみませんか。きっと友達の輪が広がることでしょう。すでに会員になっている方は、ぜひ継続をお願いします。また、周囲の方々にも声を掛けてください。

会員の資格

協会の事業を理解し協力していただける方。住所による制約はありません。

会費

・個人会員	年額	一口	3,000円
・家族会員	年額	一口	5,000円
・団体会員	年額	一口	10,000円
・終身会員 (個人)		一口	30,000円

NECパソコン専門店
文具・事務用品・紙製品
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7 豊川市民病院北

☎(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp

こんな行事がありました

文化講座「タンザニアってどんな国」

2月17日(土)世界の歩き方サークル



今回はタンザニアフィリア(有)代表取締役の清水邦子さんの紹介で、タンザニア大使館から全権公使ズフラ・アブダラー・ブンダラさんを講師にお迎えすることができました。公使は新幹線で東京から来てくださいました。偶然にも本市にタンザニアの高校生ジャクソン・クアライさん(男子2年)とエレマ・フランシスさん(女子1年)が豊川高校に留学中とのことでゲストに迎えました。

勤労福祉会館視聴覚室で午後2時から、清水邦子さんの通訳で、公使のお話を参加者(スタッフ含めて)47名で聞きました。公使は気さくな人柄で、これまで縁が遠く感じられたタンザニアを、急に身近に感じることができました。DVDで動物や自然の映像を觀賞し、清水邦子さんが用意して下さったティンガティンガ絵画の説明や民族布カンガの試着、その他の物産を間近にし、遠いアフリカの大地に思いを馳せました。

ブレイクタイムには、ス

今回はタンザニアフィリア(有)代表取締役の清水邦子さんの紹介で、タンザニア大使館から全権公使ズフラ・アブダラー・ブンダラさんを講師にお迎えすることができました。

ブレイクタイムのお菓子



タッフ手作りのお菓子マンタジとタンザニアコーヒーを試食しました。大使館から来てくださるなんて、スタッフ一同大変感激しました。



世界の料理教室「東三河の郷土料理」

2月20日(火)ホームステイ部会

今回は、勤労福祉会館調理実習室で午前10時から、豊橋調理師専門学校講師で日本料理店「やまもと」の山本勝廣先生に教えていただきました。「春のおもてなし料理」として置き寿司、はまぐりのお吸い物、あさりとわけぎのぬた、菜種蒸しを作りました。参加者は39名でした。スタッフの反省会の意見を一部紹介します。



- 先生の話がよかった。郷土料理について心温まるお話が聞けた。
- 手軽でメニューの設定が良かった。
- 中国国籍の方を2名迎え、反省会にも参加していただけた。「とにかく楽しかったよ」と言ってもらえた。

反省会にも参加していただけた。「とにかく楽しかったよ」と言ってもらえた。

- 手順を当日整理して伝えたい。何から手をつけていいのか戸惑っていた。
- 先生用の器をこちらで用意しても良かった。もっと見栄えがしたはず。
- 部会の仲間が10名ほどいたのでよい交流場所になり、またタイムキーパー役や不足材料の買い物に急ぎょ行ってくれたので助かった。
- 事務局で受付時に年齢、会員か否か聞いてくれたので班分けが楽だった。
- 留学生や身近な人を囲んでできたらいい。



良質生活アピタ
アピタ豊川店

豊川市開発ビル株式会社
豊川市諏訪3丁目133番地
TEL(0533)89・3000



ブラジルの日本人・日本のブラジル人

ブラジル滞在記No.1

御油町 小柳津 えみ

2006年11月16日から2ヵ月半、ブラジルを訪れる機会がありました。サンパウロ州、パラナ州、バイア州と3つの州を訪問しましたが、ほとんどはパラナ州の州都であるクリチーバ市で過ごしました。南半球の国なので季節は日本と正反対。私が滞在した時期は晩春から夏にかけてになります。行く前に友達から「ブラジルはとても暑いよ」と言われていたのですが、南部、つまり赤道からより離れた位置にあるパラナ州は夏でも涼しく、もっと長袖の服を持ってくればよかったと思ったほどでした。

クリチーバ市で私がお世話になったのは、日系二世のマルコスさんと日系三世のソニアさんご夫妻の家です。二人は大学を卒業し、現在はパソコンのプログラマーとして自宅をオフィスにして働いています。国民の90%が貧しいと言うブラジル社会の中で、このご夫婦は30代と若いにもかかわらずプール付きの高層マンションに住みトヨタの新車を乗り回し毎日のようにレストラン



マルコスさん宅の窓から見たクリチーバ市の街並。高級マンションが建ち並ぶ。

で外食、と「デカセギ」に頼ることなくとてもいい暮らしをされていました。

マルコスさんのお母さんで、いわゆる一世である藤原悦子さんとの話はとても印象に残りました。悦子さんは福井県出身で、43年前移民としてブラジルに渡りました。当時12歳になる長男がいましたが、母親に預け、夫婦だけで行ったそうです。他の子どもはみんなブラジルで生まれました。やっと日本に一時帰国し長男との再会を果たした時には、長男はもうすっかりおじさんになってしまっていたとのこと。自分の頭の中では12歳のままだったのに、過ぎてしまった年月の長さを実感したそうです。

ブラジルで生まれたマルコスさんのほうは、当初は日

本人移民だけが暮らす地区にいたため、4歳までは日本語のみで育ちました。しかしその後、一家が街へ出て商売を始めるようになると、マルコスさんは言葉がわからなくて友達と遊べないと、毎日泣いて家に帰って来るようになりまして。その頃から少しずつポルトガル語を覚え始め、小学校へ行くようになったらもうポルトガル語しか話さなくなり日本語を忘れてしまったそうです。実際私がお世話になっていた間



クリチーバ市の観光名所の一つ、植物園。

も、マルコスさんが片言でも日本語を話すことは一度もありませんでした。母親の悦子さんともポルトガル語で話しますが、悦子さんはもちろん日本語のほうがよく、私と日本語で話ができうれしいとおっしゃっていました。

悦子さんの話を聞いて、今日本に来ている日系ブラジル人達が抱えている問題、つまり子ども達が日本語を覚えポルトガル語を忘れてしまい、親子間のコミュニケーションがうまくいかないという問題を思い出しました。かつてブラジルに渡った日本人家族の問題がそのまま今度は日本で再現されているわけです。今の日本には外国人のためのいろんな支援活動がありますが、当時のブラジルにはそのようなものはなかったでしょう。悦子さんのような方々の苦労は、今日本にいるブラジル人家族以上のものだったろうと思われま。その一方で悦子さんは二度日本へ帰国していますが、日本はとても豊かな国になってすっかり変わってしまった、ブラジルのほうがのんびりしていていいとおっしゃっていました。日本にいるブラジル人の中には逆に日本での暮らしを選ぶ人たちが少なくありません。一世の方々はこの現実をどう受け止めていらっしゃるのでしょうか。(文中仮名)

国内旅行・海外旅行 ** 個人旅行・団体旅行

株式会社 **トラトウ東海**

豊川市内に2店舗

本社営業所(本野バス停前) ☎84-7115

国府駅営業所(名鉄国府駅内) ☎82-2788

ホームページを開設しました。
URL ● <http://www.toratou.com>

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

INFORMATION

世界の料理教室受講者募集

今回は、マレーシア料理に挑戦します。

- 日時 6月24日(日) 午前10時～午後1時
場所 勤労福祉会館調理実習室
定員 40人
受講料 会員600円、一般800円
講師 料理研究家 片桐早苗さん
申込み 5月28日(月)から電話で事務局(83-1571)へ。
先着順。

第3回中学生体験学習ツアー inマレーシア2007参加者募集

協会と交流の深いマレーシアを訪問し、国際的視野を広げ、国際理解を深める目的で実施します。

- 期間 8月16日(木)～23日(木) 8日間
定員及び参加費 15人程度。参加費は14万円程度
対象 原則として、豊川市と宝飯郡在住の中学生。
主要内容 トレンガヌ州でホームステイしながら学校訪問。
首都クアラルンプール周辺見学。
申込み 受付中です。詳しいことは事務局までお問い合わせください。

新サークル紹介

「ブラジルサークル(ABET)」が2月16日開催の実行委員会で承認されました。

- 目的 日本の文化、日常生活について理解を深めるとともに、ブラジル文化を紹介するなど相互理解を深めます。また、父母やブラジルの親戚等との対話を容易にするため、ブラジルの子どもにポルトガル語を教えます。

会員 13人

事業計画 毎週土曜日午後7時45分から勤労福祉会館で、ブラジル人ボランティアによる子どもポルトガル語教室を開きます。

事務局職員人事異動

4月1日付けで、事務局主幹が長嶋正さんから山崎博充さんに代わりました。また、嘱託員のクアダラオ・ロペスさんと国際交流員の太田美和さんが退職し、その後任にオマル・カベイヨさんと近藤佐緒里さんが就任しました。ロペスさんは平成13年11月から、太田さんは平成17年1月から翻訳業務や部会・サークル活動の推進に携わりました。後任のオマルさんは、ペルー共和国リマ市出身、25歳の男性で、スペイン語、ポルトガル語に堪能、日本語も読み書きできます。近藤さんは、以前8カ月ほど国際交流員として勤務したことがありますので2度目になりますが、よろしく願いいたします。



山崎博充さん



オマルさん



近藤佐緒里さん

新旧の主幹にあいさつを寄せていただきました。

新主幹 山崎 博充さん

このたび、事務局主幹を命ぜられました。事務局の職務・役割は何かを一日も早く自覚し、会員の皆様といっしょになって、国際交流の輪(和)を拡大させていくよう努力していきたいと思えます。そして、この地方の国際化がますます進展し、諸外国の方との相互理解と友好がさらに深められることを強く望んでいます。どうぞ皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

旧主幹 長嶋 正さん

多くの素晴らしいボランティアの皆さんと出会い、苦楽をともにすることができ、心から厚くお礼申し上げます。私の協会での4年間は、万博に明け万博に暮れたと言っても過言ではありません。豊川市のフレンドシップ国の交流関連事業を万博の前年から取り組み、協会の皆さんの多大なご協力のおかげで無事終えることができました。本当にありがとうございました。協会のますますの発展をお祈りいたします。

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533)89-1151(代)